

オールドタイマー 競技要項

H26.8.21.
H28.7.26(改)
H30.8.22(改-2)
R2.9.28
R3.10.12
R3.11.2
R4.10.13
R5.10.4(改)

1) 競技規則 この要項に定めるもののほか、日本アイスホッケー連盟規則及び国際競技規則による。ただし、アイシングをしたチームの選手交代を、ローカルルールとして認める。

2) 競技時間など

(1) 試合時間	練習	5分
	第1ピリオド	15分(ストップタイム)
	インターバル	3分
	第2ピリオド	15分(ストップタイム)
	インターバル	3分
	第3ピリオド	15分(ストップタイム)

(但し、リンク終了時間2分前に試合が終了しない場合その時点で試合終了とする)

(2) ペナルティータイム	マイナー	2分のストップタイム
	メジャー	5分のストップタイム
	ミスコンダクト	10分のストップタイム

(3) アイシング規定

全日本大会に倣い、ハイブリットアイシングは適用しない。

(4) ペナルティーの補足

イ) ボディーチェックの禁止

ボディーチェックは、マイナー又はメジャーペナルティーが課せられる。

ロ) スラップショットの禁止(ハイスティックを含む)

スラップショット(膝より高い位置からパックをたたいた場合は、ゴールへのショットであろうとなかろうと、スラップショットの反則をしたものとみなす。)を行った選手はマイナーペナルティを課せられる。

ハ) ファイティングの禁止

(a) 競技者に闘拳により攻撃(又は煽動)したとみなされた選手にはメジャーペナルティーと自動的なゲームミスコンダクトペナルティーが課せられる。

(b) ファイティングペナルティーを科せられ選手は自動的に懲戒委員会の判断が下される迄出場停止処分となる。

ニ) 同一の試合で3回ペナルティーを課せられた選手は、その試合の残り時間を退場となる。

(5) ホームチームベンチ

東伏見リンクは、夜間入口ザンボ口側、江戸川は夜間入口より奥の昼間入場口側、東大和リンクは、本部席に向かって右側(ザンボ出入口側)とする。

3) ペナルティーの特記事項

全てのマッチペナルティーを課せられた選手は無期限出場停止処分とする。

4) 義務

安全に楽しくプレーするために、全て練習・競技中はヘルメットの正規着用が義務付けられる。又、眼鏡着用者は、全日本大会は顔マスク着用が義務つけられているが、本大会は推奨に留める。将来は義務付けを検討するものとする。また、眼鏡非着用者についても、顔マスク・バイザーの着用を推奨する。また、国際基準のサーティフィケーションシールが貼付されたヘルメットなどを使用することも併せて推奨する。

5) 道具

安全に楽しくプレーするために、GK防具等日本アイスホッケー連盟の定めた基準に、則った防具を使用できない明確な事由がある場合、ローカルルールとして、使用を認めるが、あくまでローカルルールであるので、他連盟にその影響力を及ぼすことはない。GKとプレーヤーは自分と相手の安全のために、壊れた防具や極端に古い防具の使用は避ける。

6) 選手の人数

- (1) ユニフォーム着用は上限を設定しないが、全選手が出場できる様に取り計らうこと（ベンチウォーマーは、0とすること）、該当チームがあった場合は失格ゲームとする。
- (2) 試合成立の為の人数は、試合開始までにゴールキーパー不在であっても、選手6人以上必要、第2ピリオド開始までにGK1名、プレーヤー8名に満たない場合は、試合を放棄したものとみなし不戦敗とする。

7) 補助規則

- (1) 棄権
試合を棄権するチームは試合日の24時間前までにその理由と共に連盟とオールドタイマーアドレスにメール連絡すること。
試合を棄権するチームは不戦敗（スコアは0対15）とする。
- (2) 当番
当番チームは原則8名以上が試合30分前に集合し、試合のオフィシャルを務める。8名に満たない場合両チームの判断に試合の成立を委ねる。
止むを得ず当番を肩代わりする時は、前項（1）棄権の連絡方法で行う。又、試合記録の管理、TIHFスコア連絡サイトへの入力を遅滞なく確実に且つ速やかに行う。
- (3) 罰則
試合及び当番に遅刻、欠席、棄権及び連盟規約違反をした場合は、罰金から無期限出場停止までの罰則を課す。
当番の不足のため、試合が成立しない場合は、新たな試合費とレフェリー代を、当番チームが負担する。
- (4) ラインズパーソン 当番チームはオールドタイマーレフェリークリニック履修者及び公認審判該当者、本年度社会人Uリーグクリニック受講者をラインズパーソンとする。ラインズパーソンをこの規約通りに実施できない場合、試合が成立しない責任を取って戴くことになるので、チーム内、あるいは他チームの助けを請うなど対処すること

8) スーパーバイザー

当番チームの責任者はスーパーバイザーとして連盟のオーバーコートを着用しその任に当たる。

9) 感染症対策

- (1) コロナが第5類となり、特にマスクの着用、電子ホイッスルの仕様など強制するものではないが、体調管理には十分に留意して試合、オフィシャルに参加すること。少しでも体調に不安のある場合は積極的に試合、オフィシャルの参加を自粛すること。

10) ユニフォームタイダウンストラップ

- (1) レフェリー委員会より、令和6年3月末日までの猶予が認められたので、それまでに着装をするよう各チームで対応のこと。

以上